

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ナウ

# Network 11 / 1

2019 No.527

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 第35回 日本診療放射線技師 学術大会 開催される



2019年9月14日(土)から16日(月・祝)までの3日間、埼玉県 大宮ソニックシティにおいて第35回日本診療放射線技師学術大会が開催された。公益社団法人日本診療放射線技師会の主催、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の共催により「国民と共にチーム医療を推進しよう 一彩の国から未来へ」をテーマに掲げ、2,499人の参加登録、演題数は448演題となり、盛会に開催された。

初日の14日(土)は開会式が執り行われ、佐野副会長による開会宣言の後、中澤会長の鐘打ちによる音が会場一杯に響き渡り、開会が告げられた。中澤会長による主催者あいさつに続き、田中大会長によるあいさつがあり、厚生労働省医政局長のあいさつ文が紹介された。さらに埼玉県保健医療部長代理 保健医療部医療整備課長、さいたま市長代理 さいたま市保健部長、一般社団法人埼玉県医師会会長からごあいさつを頂いた。続いて公益社団法人日本放射線技術学会代表理事、一般社団法人日本画像医療システム工業会会長、一般社団法人埼玉県薬剤師会会長、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会会長、公益社団法人埼玉県理学療法士会副会長、一般社団法人埼玉県作業療法士会副会長、公益社団法人埼玉県臨床工学技士会事務局長および各国代表者などのご来賓の紹介があり、祝電が披露された。また50年永年勤続表彰が10人、30年永年勤続表彰が78人、



開会式の様子

学術奨励賞が11人、さらに社会貢献を称賛する江間賞8人の出席があり、栄誉をたたえ表彰された。そして開会式の閉会を熊代副会長が告げ、開会式は終了した。

機器展示会オープニングセレモニーでは、堀江副大会長の開会の辞から始まり、中澤会長、日本画像医療システム工業会 新延晶雄会長、田中大会長によるあいさつとテープカットが行われ、今出副実行委員長の閉会の辞をもってオープニングセレモニーは終了した。機器展示は、日本画像医療システム工業会ならびに多くの協賛企業の協力の下、さまざまな展示が行われた。



田中大会長のあいさつ



学術奨励賞受賞者の方々



江間賞受賞者の方々



テープカットの様子

初日の講演内容は、招待講演にPh.D., RTR, FASRT, FMOsRT, Former President of ISRRRT, Vice Dean For Student Affairs & Diversity and Professor Goldfarb school of Nursing at Barnes-Jewish College St. Louis, Missouri United States of America, Dr. Michael D. Ward氏による「Current Status of Post-Primary Credentials: Benefits versus Disadvantages」と題したご講演を頂いた。特別講演は、公益財団法人日本骨髄バンク小島勝氏による「骨髄移植についてもっと知ろう 骨髄バンクについて」、教育講演では、群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 診療放射線学科 五十嵐博氏による「うっかりミスはなぜ起きる：そのメカニズムと対策を考える」のご講演を頂いた。

情報交換会は、さいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で午後6時30分から開催された。中澤会長、田中大会長のあいさつの後、日本放射線技術学会 白石順二代表理事、日本画像医療システム工業会 新延晶雄会長、そして多くの国会議員よりご祝辞を頂いた。新開英秀監査監事の乾杯の発声により祝宴の口火が切られた。各都道府県から持ち寄られた日本酒が勢ぞろいし、参加者は交流を深めながら食事と酒を

堪能した。また海外諸国とのプレゼント交換セレモニーや筑波山陣中膏ガマの油売りや埼玉県実行委員会で結成されたメガベクレズの演奏などの余興により大いに盛り上がりを見せた。また次期開催県である公益財団法人宮城県放射線技師



招待講演 (Michael D. Ward氏)

会 立花大会長による開催案内およびPR動画の放映の後、お開きとなった。

2日目の15日(日)は、中澤会長による「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題した会長講演が行われた。特別講演は、東京医療保健大学 坂本すが氏による「特定行為研修制度から見た今後の医療」および聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科 医療情報処理技術応用研究分野 小林泰之氏による「医療AI最前線：診療放射線技師と放射線科医の共創に向けて」のご講演を頂いた。教育講演は、公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を 代表理事 大住力氏による「大切なものほど…目の前にある～難病の子どもとその家族に教えてもらったこと～」のご講演を頂いた。

最終日の16日(月・祝)は、川越救急クリニック院長 上原淳氏による「ダ埼玉！ 救急医療と地域医療の現状」と題した特別講演、市民公開講座では『ラジエーションハウス』原作監修 五月女康作氏による「漫画『ラジエーションハウス』誕生からドラマ放映まで～16年のキセキ～」のご講演を頂いた。

今回の学術大会では、日放シンポジウム・学会企画・分科会企画・SART大会企画・ブラッシュアップセミナー、そして多くの口述発表・示説発表が行われ、いずれも活発な討議・検討が繰り返された。さらにはリーディングコーナーとして上部消化管・胸部単純・CT・MRI・MMGの読影解説が行われ、125人の参加があった。また一般市民向け、主に小中・高校生を対象とした「3D画像による人体解剖学体験」が行われ、93人の参加があった。

そしてこの日は早朝からMorning Runが企画されていたが、天候不良のため、参加者の安全を優先し中止となった。

閉会式は、熊代副会長による開会の辞から始まり、示説発表における優秀賞として3演題が表彰された。また口述部門からSART優秀賞として3演題が表彰された。中澤会長から主催者あいさつ、田中大会長からあいさつがあり、中澤会長により閉会を告げる鐘が鳴らされた。鐘は、埼玉県実行委員会から次期開催県である宮城県実行委員会へ引き渡され、宮城県放射線技師会 立花大会長からあいさつがあった。その後、埼玉県実行委員会に中澤会長から感謝状が授与された。佐野副会長による閉会の辞をもって、3日間にわたる学術大会は成功裏に幕を下ろした。

次年度の第36回日本診療放射線技師学術大会は、2020年10月23日(金)から25日(日)までの日程で、仙台国際センターで開催する予定である。



情報交換会の様子



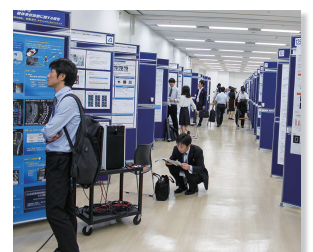
SART大会企画6



ハンズオンセミナー



市民公開講座



示説会場

## 第3回 診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会 開催される

2019年9月6日(金)、厚生労働省会議室において第3回診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会が開催された。本検討会には、日本診療放射線技師会と全国診療放射線技師教育施設協議会が、2015(平成27)年9月29日に合同会議を開催して以来、2018(平成30)年3月29日の第1回検討会までに計10回にわたる会合を重ね、両会で合意を得た報告書がたたき台として提案されている。第1回、第2回

の検討会では、技師会・協議会、ならびに各構成員の関係団体間で意見の隔たりが大きく、合意には至らず1年が経過した。しかしその間、厚生労働省事務局は各構成員の意見調整を図り、1年間のブランクを埋めるべく改正案が提案されたことは、議論を尽くし紆余曲折を経た末の将来につながる前進といえる。詳細は、本会誌11月号巻頭言および厚生労働省ホームページを参照いただきたい。(副会長 熊代正行)

## 2019年度 放友会 開催される

2019年9月13日(金)、第35回学術大会開催地である埼玉県のさいたま新都心「秋ヶ瀬庵」で、新開英秀監事の下、放友会が開催された。出席者は本会から中澤会長、佐野副会長、熊代副会長をはじめ、本会役員14人、元役員18人のOB、そして第35回学術大会(埼玉県)の田中大会長、堀江副大会長の2人、事務局員や同伴者を含め、41人が出席した。

初めに中澤会長よりあいさつがあり、放友会世話人の新開先生による乾杯で会が始まった。その後、OBの先生方からお言葉を頂戴し、現役員と共に親睦が図られた。

今回は、診療放射線技師として初めて国会議員となった畦元将吾先生にもご出席いただき、出席者と親睦を図り、診療放射線技師の業務拡大に向けてまい進していくことが語られた。

「放友会」は、33年前の1986(昭和61)年6月、本会主催の催し物などの際に元役員らが一堂に会して旧交を温め、未永く親交を図ることを目的として開催決定されたものといわれている。当時の本会監事 岩佐誠先生、藤野哲三先生、竹

内稔先生が発起人となり、現会長を名誉会長とすることも決定したとのことである。その後の慣例として、現監事が世話人になり開催されてきた。

今後とも、元役員の方皆さま方におかれましてはご出席いただき、現役員を叱咤激励いただきますようお願い申し上げます。

次年度は宮城県仙台市で開催を予定しており、本会元役員諸先輩方の多くのご出席をお待ちしております。



## 国家試験日程決まる

第72回診療放射線技師国家試験の施行について、2019年9月2日付で厚生労働省から報告があった。

試験期日は2020年2月20日(木)、試験地は北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県である。試験科目は基礎医学大要・放射線生物学(放射線衛生学を含む)・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・放射線

治療技術学・放射線安全管理学である。合格発表は2020年3月23日(月)午後2時である。試験に関する手続きおよび問い合わせ先は、以下の通りである。

診療放射線技師国家試験運営本部事務局

〒130-0022

東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビルディング第2ビル6階

TEL: 03-6659-9687

# 東北地域女性活躍推進班 みちのくこまち企画 東北地区合同勉強会

## 「0から学ぼう! 乳腺 Part.4」開催報告

女性活躍推進班 東北地域代表 佐藤 晴美

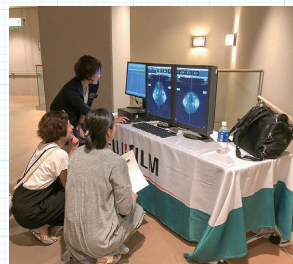
2019年8月10日(土)、仙台市で「東北地区合同勉強会 0から学ぼう! 乳腺 Part.4」を開催しました。参加者は東北一円、関東からも合わせ185人(JART会員120人、非会員31人、臨床検査技師24人、看護師他10人)と、大勢の方々にご参加いただきました。

この勉強会を楽しみに、第1回から参加してくれている方もたくさんいらっしゃいます。

今回は、乳腺画像について“最新の技術を学ぶ”こと、乳がん検診のデータから検診受診率・要精検率・乳がん発見率の状況を知ること、そして“乳がんの治療についてシリーズで学ぶ(1回目)”ことを主題にしました。

特別講演1「最新の乳癌診療の考え方～乳癌診療ガイドラインの放射線診断を中心に～」、特別講演2「高濃度乳房について考えてみよう～高濃度乳房の本質に迫れるか～」では、岩手県立中央病院 乳腺・内分泌外科 大貫幸二先生よりご講演いただきました。

合同勉強会のアンケートでは、今回の内容について「よかった」「とてもよかった」が7割以上と好評でした。コメントには「乳がん検診の詳細なデータを知ることができた」「治療の流れや技師の目線が分かった」「乳がん



診療についての情報の大切さが分かった」「高濃度乳房について日々迷うことが、少し解決できてよかった」と記載していただきました。

今後の勉強会へのリクエストには、「超音波とMMGの対比画像について」「トモシンセシスに特化した内容を」「病理について」「接遇のコツ(受診者との会話)」「術後乳房形成術の症例と経過、合併症について」「装置の品質管理」「MRI画像の読み方について」など、大変多岐にわたる声を頂きました。今後、この多職種で乳腺に特化した合同勉強会を続けていくに当たり、大変参考になりました。

来年は、2020年7月4日(土)、仙台市AER(アエル)で第5回の開催が決定しております。

みちのくこまちの合同勉強会が、『東北の乳がん診療に寄与できる会』となるように、これからも活動していきたいと思っております。

# 2019年度 第1回 超音波実技講習会 「腹部領域」開催報告

公益社団法人日本診療放射線技師会  
九州地域理事 江藤 芳浩



2019年9月29日(日)、本会事務所講義室で2019年度第1回超音波実技講習会「腹部領域」が開催されました。

本講習会は「今から始める超音波検査」と題して、超音波検査未経験または再履修を希望するミドルシニア・シニア会員を対象に、超音波検査をセカンドキャリアとして活用していただくことを目的として年3回開催しています。

本講習会の座学部分については、事前にDVDを視聴していただき、当日は十分な時間をかけて実技指導のみを行う構成としています。またしっかりと基礎を身に付けていただけるよう、定員30人の少人数制とし、超音波装置5台、講師10人に対し、1班5～6人の受講者で集中的に指導が行われ、今回は28人の受講者に参加いただきました。



今回の腹部領域では、「肝」「胆嚢・胆道」「膵・脾臓」「腎・膀胱・婦人科領域」「腹部大動脈・消化管」の5領域を対象に実技を行います。プローブの持ち方や動かし方、対象臓器ごとの基本走査法やコツ、走査上の注意点やピットホールなどについて、超音波検査のエキスパートである講師が、受講者一人一人に丁寧に指導します。未経験者や初心者にとって、超音波検査の習得は座学だけでは難しいため、実技のみ集中的に行う本講習会は大変有意義であり、今回も受講者が熱心に受講されていました。

本会のシニア向け超音波実技講習会は、講習会で得た知識と走査技術を臨床業務に生かしていただくとともに、将来の就労のためのキャリアアップや在宅医療をはじめ、大規模災害における診療放射線技師の関わりを超音波検査によって実現していただく期待も込められています。本事業がますます発展し、一人でも多くの会員が超音波検査に携わっていただくことを願っております。

最後に、本講習会開催に当たり実技指導をしていただきました講師の皆さま、超音波装置をご提供いただきました(株)日立製作所、(株)フィリップス・ジャパン、GEヘルスケア・ジャパン(株)のスタッフの皆さま、日本診療放射線技師会関係各位に感謝を申し上げます。

## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

# 2019年度 永年勤続表彰者

2019年度 第35回日本診療放射線技師学術大会開会式で表彰式が執り行われました。  
おめでとうございます。

## 50年勤続表彰



- 神奈川県** 皆川 恵一
- 和歌山県** 古川 和仁、鳥住 和民、平野 昌秀
- 山口県** 柏村 博正、大野 忠基、宇津見 博捷、西田 捷男、松本 雅順、山下 凌順
- 長野県** 滝 朝昭
- 大阪府** 井澤 一雄、前羽 公平
- 香川県** 福井 励子
- 石川県** 澤本 豊満、清水 満
- 兵庫県** 川戸 隆夫、山田 安弘、神澤 良明
- 愛媛県** 西山 健一、福島 眞吾
- 富山県** 廣瀬 久司、加藤 勇
- 静岡県** 和田 健幸、後藤 憲司、村松 官司
- 岡山県** 田中 二郎
- 福岡県** 伊藤 英征
- 三重県** 溝井 力
- 鳥取県** 穂山 恒雄
- 鹿児島県** 河野 正人
- 岩手県** 竹内 熱志、中内 盛幹、長谷川 一裕、富田 和俊
- 秋田県** 蜂谷 武憲
- 宮城県** 片倉 義之助
- 茨城県** 福田 豊昭、小鴨 義尚
- 東京都** 中野 静男、上遠野 紀男
- 福島県** 山野辺 明
- 埼玉県** 渡辺 弘
- 千葉県** 石川 敏三
- 島根県** 向原 洋

計 49人

## 30年勤続表彰



- 北海道** 大西 利治、後藤 一郎、高地 宏修、関戸 雄一、浦部 勝芳、真壁 武司、石坂 和良、足立 晋
- 秋田県** 鈴木 かなみ、中川 亨、後藤 和宏、林 美智子
- 新潟県** 石川 玉樹、宮崎 敬三、野水 敏行、金澤 勉、小野塚 優功、山本 功
- 宮城県** 山中 仁美、中一 臣、早坂 隆行、長谷部 豊純、永窪 純司、千田 浩司、田中 由紀、佐藤 俊英、斎政 博男、大槻 芳男
- 栃木県** 設楽 賢司、後藤 和則、米田 純子
- 茨城県** 小山 修昭、砂森 秀一、佐々木 雅之、根本 宏達、海老澤 達夫
- 岩手県** 菊池 麻美、門間 三紀、渡邊 誠明、駒木 俊洋、小岩 洋一、中里 純一、杉内 純一、藤原 薫美、長澤 浩美、佐々木 英樹、目時 毅久、齊藤 美久
- 山形県** 鈴木 恵次
- 福島県** 山崎 武司、大竹 健勝、知々田 嘉博、白石 石博、八木 准彦、村上 克彦、佐藤 勝彦
- 群馬県** 下瀬川 正幸、高橋 徹宏、荒木 保久、武田 知弘、大竹 美佐子、高橋 利彦、井野 利彦

- 埼玉県** 小池克美 柳田智樹 若林秀和 山岸正二 鈴木恒昭 永田喜彦 角田信雄 廣沢光俊 村田邦彦 加藤芳人
- 千葉県** 村岡勝美 中嶋浩司 山崎信広 武田勝広
- 東京都** 佐藤謙一 丸山光昭 井上英樹 笹沼和智 齋藤裕晃 内藤哲也 太田勝郎 福原幸規 長浜新勲 栗田智之 丸山まゆみ 篠田浩一 関真聡 佐伯聡
- 神奈川県** 宮崎寿哉 木戸幾三郎 佐藤武夫 佐々木俊光 大澤幸夫 松尾清邦 岩本聡和 和田幸男
- 山梨県** 芦沢雅人
- 長野県** 田中早百合 林伊史彦 佐藤文宏 赤沢正人 小百瀬光昭 伊藤秀樹 保科誠一 上田好美 萩原順二 栗原孝彦 茅野充昭 小林清進 岩原清進
- 石川県** 作井久豊 中川亮二 古谷治人 古保寿年 坂倉正樹 末井恵美
- 富山県** 野畑勝彦 東海弥生 向義博
- 福井県** 木村裕治 白崎伸一郎 西郡克寛
- 静岡県** 高橋真也 片岡純也 望月尚子 栗田仁一 崎谷英樹
- 愛知県** 山田雅己 與語久光 高橋徳史 井上恵理子
- 勝又優 小田耕司 荒木真美 田中浩一 中村幸弘 古賀善光 阿知波正成 瀨尾仁靖 山下藤幸一 遠藤圭二 榭原英二
- 岐阜県** 井戸泰伸 松岡義直 岩佐成彦 高野裕文 戸崎修一 田中克修 近松佳正 船坂哲哉 松下羽文 丹谷川健弘 井上康和 野々村和洋
- 三重県** 水井江美 羽場直樹 岡田和正 小塚研司
- 滋賀県** 橘川信忠 山元卓明 武田宣也 木村哲也 川合久和 小島由美子 井上道博
- 京都府** 吉岡啓介 矢野慎輔 堀村保人 清水克行 千尾武彦 田中清次
- 奈良県** 石見浩哲 西上良一 山本誠仁
- 和歌山県** 山本規貴 川崎秀樹 世古朝之 宇野雅雄
- 大阪府** 田内純子 工藤博彰
- 兵庫県** 山本圭一郎 江上尊広 西岡敦子 二ノ倉秀樹 天野隆也 城下幸司 中島宏樹 安藤彰英 松島卓也 藤本守彦 井口晃利 南野大俊 脇本英俊
- 岡山県** 藤井純彦 横畑勝敏 矢原謙治 角南尚伸 河内秀文 高尾涉
- 林渡史朗 邊敏充 植田武誠 河村吉生 岡本敏子 安井伸枝 成廣直正 小柴辻有基 松浦一潔 若林幸之助 大島佳代子 松田哲典 松田馬勝弘 玄河難波長弘 池長幸
- 広島県** 栗田博正 見田秀次 高橋正辰 野崎浩治 神山根健康 石田康宏 川野宏
- 鳥取県** 福光忠
- 島根県** 池田秀樹 森山信次
- 山口県** 中原博子 嶋田敬弘 河野光毅 大下健一 清水裕典 高山浩之 岡田竜二 神崎勝司 中村勝司
- 播摩祐治 池口美隆 山口中正 藤中治
- 香川県** 比呂原みゆき 井元信悟
- 愛媛県** 水田智也 谷川達亨 富永亨
- 高知県** 森文夫 大野貴史
- 福岡県** 堺峰崇実 原田直樹 三輪泰行 高筒井淳一 宮原政弘 中高橋幸隆 川瀧口勝晴 新谷藤三世 伊藤政弘 白石高野宏巳 小野上真佐人 田原克実 西澤下泰夫 齋藤孝高 小松本芳浩 西谷津又司 大竹原龍彦 中寺崎博博 倉田清博
- 佐賀県** 山口光吉 青木克文 星山浩二 中島弘泰
- 長崎県** 千年原稔 小橋英雄 松田謙介
- 大分県** 土谷久士 工藤一幸 村上英明 奥崎一利
- 熊本県** 西本博美 瀬上順三
- 宮崎県** 堀川隆浩 森岡祐平
- 鹿児島県** 山口禎久 中村克也 松野直美 瀧田耕治 橋口善治
- 沖縄県** 関口智子 金城善栄 金城善栄

計 332人

# 65歳以上の方の会費が8,000円になります!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円となります。次年度の会費請求から実施することになりましたので、お知らせ致します。

これに伴い、会費の終身免除（会費等納入規程第8条）は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

### ※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。



INFORMATION



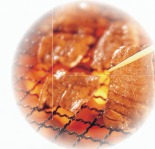
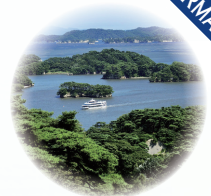
第2回

# 第36回日本診療放射線技師学術大会

## 宮城への道

伊藤 道明

(宮城県放射線技師会)



### 仙台とは

初めに、仙台市がどんな所かといいますと、東北は宮城県の中心にあり、人口108万人を有する東北地方最大の都市です。1601年、伊達政宗公によって城下町として開かれ、「東北地方における経済・行政の中枢都市」として発展してきました。自然の中にある大都市「杜の都」として、そして伊達政宗公の城下町の面影を残している街として親しまれています。市の中心部には、「杜の都」の象徴であるケヤキ並木の定禅寺通りがあり、四季の移ろいととも、いろいろなイベントが毎週のように行われ、訪れる人で賑わっています。また「学都仙台」と呼ばれるほど学生の多い街です。今から100年ほど前、アインシュタイン博士が来日し、講演を行った東北大学があります。学生の間では“トンペー”の愛称で一目置かれる存在です。

仙台市にはこれと言って抜きんできたものはないのですが、全国住みたい街ランキング2019で17位となっています。あまり感じたことはないのですが、住みやすいようです。調べたところ、年間降水日数(少ない順)が全国1位でした(宮城県としてはサメ類の漁獲量1位(笑))。そして東北地方としては雪が少なく、寒くもなく暑くもなくといった所です。そのためかどうかは分かりませんが、東北楽天の試合はあまり雨天中止がないかもしれません…。

あっ!? そうです! 仙台にはプロ野球パ・リーグの球団、仙台市の「楽天生命パーク宮城」を本拠地とした「東北楽天ゴールデンイーグルス」があります。仙台駅から歩いて10分ほどで行くことのできるボールパークです。試合日は、仙台駅からたくさんの方が連なっています。来年の学術大会のころには、仙台で日本シリーズが行われているかもしれません。またJリーグの「ベガルタ仙台」も仙台市をホームタウンとしています。そしてもう一つ、仙台には日本プロバスケットボールリーグチーム「仙台89ERS(センダイエイティナイナーズ)」もあります。ベガルタ仙台はベガルタゴールド、89ERSはナイナースズイエローというチームカラーがありますが、試合がある休日には街中がユニホームカラー一色になります。

話は戻りますが、仙台は気候が良く、そして大きくもなく小さくもないため、海にも山にも車ですぐに行くことができます。そんなところがこの街の魅力なのでしょうか。

それでは、また来月をお楽しみに!



伊達政宗公



定禅寺通り



楽天生命パーク宮城



\*今月の一杯: 宮城の日本酒を紹介します。今月は「乾坤一(ケンコンイチ)」です。山田錦で造っているひやおろしは味があってクセもなく、キレもよくシンプルで食中酒に合います。ぜひ飲んでみてください。





第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

# 日本診療放射線技師学術大会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう  
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ  
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期  
Date

2020年  
10月23日(金)→25日(日)

会場  
Venue

仙台国際センター

会長  
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa  
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長  
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana  
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)  
宮城県 (予定)  
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL: 022(388)3777 FAX: 022(388)3778

## 老いを感じて



皆さんは、普段の生活で老いや衰えを感じたことがありますか？

老いとは「老齢になる、年をとって心身が衰える」、衰えるとは「力や勢いなどが弱くなる、盛んでなくなる」(大辞泉)。

私は、近ごろ体力の衰えはもちろんこと、集中力の低下、視力の低下を年々増して感じている。さらにひどいのが、頭に浮かんでいる物事が出てこず、必死に思い出そうとするも「あれあれ」と連呼するありさまである。

ある調査の老いや衰えに関するものでは、40~50代で体の衰えを感じる箇所として「目」「肩」「腰」の順に多く、能力の衰えとして「視力」「計算力」「集中力」の順に多いとある。自分も完全に当てはまると意気消沈していたところ、他の調査より勇気付けられる内容を見つけた。それは40代以降にピークが来る能力を記したものであった。40~60代が優れている能力として、「理解力」「判断力」「解決力」、そして「熟達した技能」ともあった。この「理解力」「判断力」「解決力」は、過去の自分の経験からなる記憶に基づく能力であり、年齢とともに増していくとされていた。また「熟達した技能」に関しては、

早く正確にこなす仕事など、瞬発力など反応の早さが必要となる能力は、やはり年齢とともに衰えていくものであるが、熟達した技能により単純な反応速度の衰えを補い、超えていくものであるという。ウムウムとなぜきながら、われわれ技術職にも当てはまるのではと共感しつつ、自分にはない「熟達した技能」を追考していた。

老いや衰えは誰もが避けて通れないものではあるが、決して否定的な面だけではなく、老いとともに衰えていくものと、衰えてもなお得られるものがあるということである。できなくなってしまったと悲観するのではなく、出来方・やり方が変わったのだと素直に受け入れていこうと思う。

若い頃、必死に覚えた仕事のやり方は忘れられず、一生ついて回るものだといわれるが、果たして自分がその頃、忘れられなくなるほどがむしゃらに意欲を持って学んだのか、そして今の自分に熟達した何かがあるのか…と考えさせられる。これからでも遅くはないと信じつつ、老いや衰えを感じる自分に言いかけ励んでいきたい。(文責：吉井 章)

## 11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 画像等手術支援認定講習会： 福岡 11月23日(土・祝)
- 放射線治療分科会生涯教育セミナー： 新潟 11月30日(土)
- 超音波実技講習会「頸動脈・下肢静脈領域」： 東京 12月 1日(日)
- 医療画像情報精度管理士セミナー： 東京 12月 8日(日)
- 医療被ばく低減施設認定取得セミナー： 沖縄 12月15日(日)
- 放射線機器管理地域研修会： 山形 12月21日(土)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000004\\_api.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004_api.html)

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。